

## 学校と家庭で育む「情報モラル」

学校では、以下のとおり指導してまいります。ご家庭でも、お子様と一緒に  
ご確認いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



### GIGAスクール構想で目指す新しい学び

令和3年度から、子どもたちに一人一人に配付された「アカウント」で、それぞれの端末からログインして、「クラウドサービス」を使った学習が始まります。「コンピューター」が、文房具の一つとなり、子どもたちの学びを支えます。

新しい学びの環境で、コンピューターやインターネット等を活用し、子どもたちは、さらに主体的、対話的で深い学びが可能となり、社会を生き抜く力を身に付けていきます。

### 情報モラルの重要性

インターネットはよい面だけではなく、危険もあります。使い方次第で「加害者」にも「被害者」にもなります。そこで、学校の指導だけでなく、家庭と一緒に子どもたちに「情報モラル」を育てていくことが求められます。

### 家庭でお子さんと一緒に確認してほしいこと

- インターネットは、使い方次第で加害者にも被害者にもなること
- 心配なことや気になることがあった場合は、家族や先生などに必ず相談してほしいこと

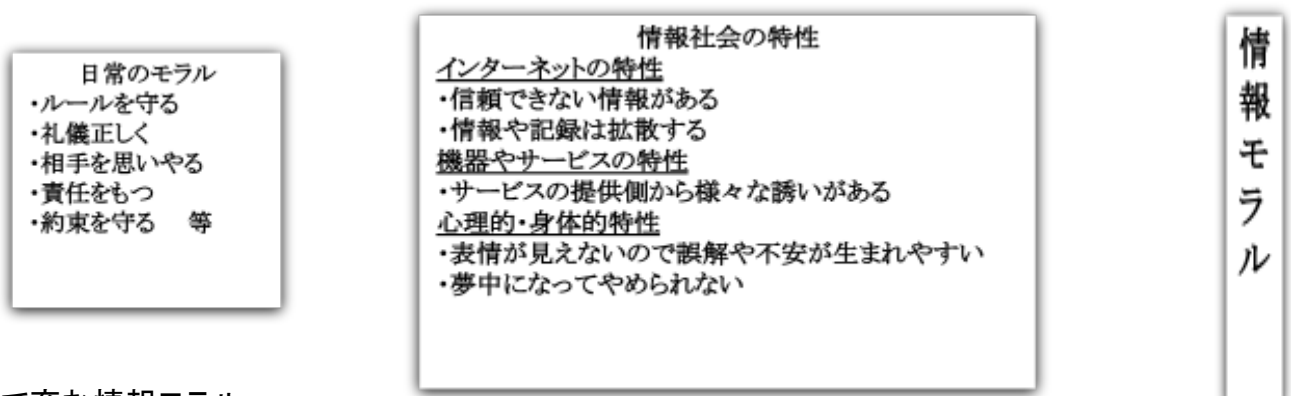
### 情報モラルとは？

「情報モラル」は「日常のモラル」の延長線上にあります

日常のモラルを「社会において、適正な活動をおこなうための基になる考え方と態度」とするならば、情報モラルは「情報社会において、適正な活動を行うための基になる考え方と態度」と言うことができます。つまり、情報モラルは日常のモラルの延長線上にあると言えます。

情報社会で、子どもたちが健やかに成長するためには、心の教育を通して規範意識を育てることが必要です。相手の立場に立って思いやりのある行動を取ることと、インターネットでのコミュニケーションで相手を思いやる気持ちや行動は同じです。

「情報モラル」は「日常のモラル」を基盤に、「情報社会の特性」を理解しながら育むことが大切です。



### 家庭で育む情報モラル

学校で学ぶ情報モラル教育の項目において、ご家庭と共有し、一緒に育んでいきたい項目とご家庭で育むポイントを以下に示しました。ご家庭でも情報モラルを育む手がかりとして活用してください。

#### 1 自分の心や体を守る

- 長時間の使用が体に悪影響があることを理解している。
- ネットで知り合った人には、悪意がある場合があることを理解している。

#### 【ご家庭で育むポイント】



- ネット依存にならないために、積極的に子どもに声をかけ、コミュニケーションを取ることが大切です。
- ネットで知り合った人に、保護者にだまって自分の情報を教えたり、直接会ったりしないようにすることが大切です。

## 2 相手を大切にす

- ネット上に友達の悪口や嫌がることを載せてはいけないことを理解している。
- 画像や動画をアップロードすることは、相手を傷つけることがあることを理解している。
- 相手に対する書き込みや、画像や動画のアップロードが、いじめにつながる危険があることを理解している。



### 【ご家庭で育むポイント】

- SNSでの安易な情報発信は、危険につながることを認識させます。
- 投稿した情報は、第三者がコピーしたり、別の場所に投稿し直したりすると消すことはできないことを、しっかり理解させます。
- 写真には位置情報が付いていることがあり、簡単に撮影場所を特定できることを知っておくことが大切です。
- どんな写真を送付しているかを把握しておくことが大切です。

## 3 情報の危険性を理解する

- 悪意のある情報もあることを理解している。
- 常に情報の正確さを判断している。
- 情報の危険性から守るためには、フィルタリングが重要であることを理解している。
- 自分のIDやパスワードを他者に教えることは、危険であることを理解している。



### 【ご家庭で育むポイント】

- Chromebookのフィルタリング設定は多賀城市で一括して管理していますが、ご家庭のパソコンやスマホ等を使う場合は、別にフィルタリング設定をする必要があります。スマホ等購入時のフィルタリング設定は保護者の義務になっています。
- 情報モラルを判断する力を育むためには、前提の「日常モラル」+「情報社会の特性」の理解が大切です。

## 4 法律を理解する

- 著作権・人権などの情報に関する法・制度について理解している。
- 個人情報の保護の視点からID・パスワードの大切さを理解している。

### 【ご家庭で育むポイント】

- 著作権などの知的財産を尊重する心を育むことが大切です。
- 人権損害により裁判につながることもあることをご家庭でも確認します。
- 個人情報の取り扱いに関するルールや法律について、確認することが大切です。

